

No.2604

野伏ヶ岳

平成 30 年 4 月 1 日(日) 晴れ

参加者：鳴原 (L)、岡本、右田(記録)

以前から鳴原さんに聞いていた岐阜県と福井県の境界上にある日本 300 名山の野伏ヶ岳 1,674m に登ることになった。登山道がないので、積雪期でないとな藪で大変らしい。特に残雪期の今は登山に最適とのこと。しかし、ここ最近の暖かさで雪が解けていないか心配だ。

土曜日 20 時に新大阪駅前を鳴原車で出発。東海北陸道の白鳥を下りて午前 0 時頃に白山中居(はくさんちゅうきょ)神社駐車場到着。すでに数台の駐車あり。

翌朝、6 時 20 分頃に出発。石徹白川(いとしろがわ)に架かる橋を渡り林道を進む。途中まで除雪してあるがすぐに雪道となり林道をひたすら登る。1 時間 30 分ほどで開けた場所に出る。ここは牧場跡らしい。ここから野伏ヶ岳が正面に望め、これから登るダイレクト尾根が確認できる。ダイレクト尾根の取り付きまでは、牧場跡の端をトラバース気味に歩く。やがて尾根の取り付きに到着。ここでアイゼンを着け、腹ごしらえをする。尾根まではかなり急な斜面を喘ぎながら登って行く。尾根に登り切ると頂上らしきピークが確認できるので、登行意欲が増すが体がついてこない。それと天気良すぎて暑さで体力を消耗する。



(牧場跡から望む野伏ヶ岳)



(ダイレクト尾根①)

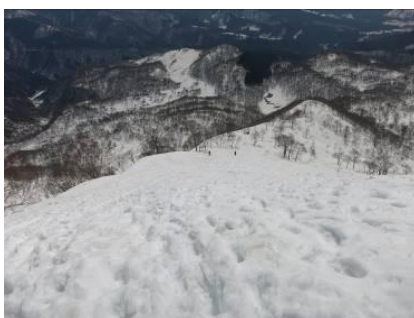


(ダイレクト尾根②)



(ダイレクト尾根③)

それでも割といいペースで登っていたようで頂上には出発から約 4 時間で 10 時 15 分に到着。頂上の標識もないので証拠写真の撮りようもないが、他の登山者に記念撮影してもらおう。一の峰から二の峰・三の峰・別山・白山へと続く峰々、それから赤兎山・大長山・経ヶ岳の山々が神々しく我々を出迎えてくれた。野伏ヶ岳は素晴らしく展望の良い山だった。



(ダイレクト尾根を望む)



(野伏ヶ岳登頂ドヤ顔の三人)



(野伏ヶ岳頂上証拠写真)

下りは雪も腐り非常に歩き難い。やけ気味に岡本さんと速足で歩く。林道に出るとさらに状態が悪くなりしかも結構長い。飽き飽きしてきたころようやく石徹白川沿いに出て 13 時 10 分に駐車場到着。

牧場跡までの往復の林道には嫌気がさすが、ダイレクト尾根取り付きからピークまでは展望もよく気持ちの良い歩きが楽しめ、またいつか登りたいと思わせる山だった。



(野伏ヶ岳全景)



(野伏ヶ岳登頂ルート)